

おだわら市民交流センターUMECO第三者評価の振り返りについて

1 令和4年度分評価に係る流れ（太字は委員会の議題として審議）

年月日	内容
令和4年2月14日	令和4年度事業計画の報告（指標の設定）
10月20日	中間報告
令和5年2月13日	評価方法の確認
5月18日	評価資料の事前送付
5月25日	UMECO実施事業結果報告、質疑応答、委員間の意見交換
5月31日	各委員からの評価シート提出締切
6月23日	各委員に事務局案の確認依頼を送付
6月29日	事務局案の確認期限（その後、正副委員長による最終確認・評価確定）

2 これまでの平均評価点数（網掛けは、前年からの点数差が0.5点以上あるもの）

	機能					その他		コンセプト			備考	
	拠点	相談・支援	協働支援	学習・体験	交流	情報発信	男女共同	国際	誰でも	シェア		課題解決
H30	3.6	3.5	3.1	3.5	3.5	3.3	3.0	2.9	3.6	3.4	3.1	第8期
R1	3.8	3.8	3.1	3.7	3.4	3.2	3.0	2.8	3.9	3.2	3.1	第9期
R2*	3.9	3.5	3.2	3.2	3.6	3.7	3.0	3.0	3.9	3.1	3.4	
R3*	4.4	3.8	3.9	3.5	3.8	3.6	3.4	3.1	3.6	3.6	3.3	第10期
R4	3.8	2.9	3.0	2.8	3.8	3.4	3.1	2.8	3.3	3.4	2.8	

※令和2・3年度は、コロナ禍により多くの事業が中止・縮小されたため、「やむを得ない中止等は3点、工夫して実施できれば加点」という考え方で評価を実施。

3 評価に係る所見及び見直しの方向性（案）

No	所見	見直しの方向性（案）
1	「開催回数」等、事業の量に着目した指標が多い。	事業の質に着目した指標の設定を促す。（「満足度」「連携件数」「解決した地域課題の数」等）
2	評価者の中で、評価点数のばらつきがある可能性がある。	採点基準をより詳細に設定し、共有する。 前年度評価点数を資料に参考表示する。
3	指定管理者からの報告だけでなく、客観性の高いデータがあると良い。	事業報告書にアンケート結果を添付する。
4	前回指摘事項の対応状況が不明確である。	これまでの指摘事項への対応状況を明確にする。
5	全体的に資料が少なく、特にコンセプトの評価材料に乏しい。	コンセプトを踏まえた成果等について記載するよう促す。
6	会議内のヒアリング時間が足りない。	事前に質問を提示し、会議内で回答する。